

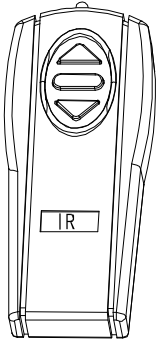


Home2(ホーム2)
シリーズ
Ver.1.5
ユーザーガイド

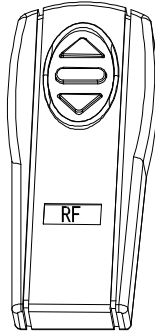




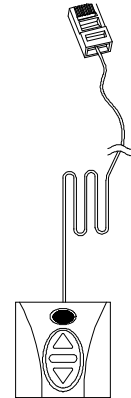
Home(ホーム)シリーズ付属品



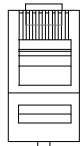
IR



RF

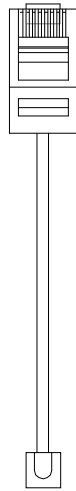


壁用ボックス

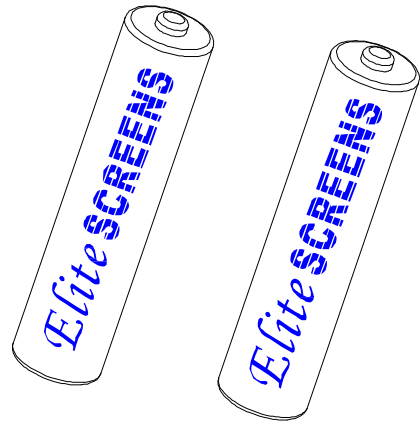


赤 +12V
緑 0V

12Vトリガ入力ケーブル

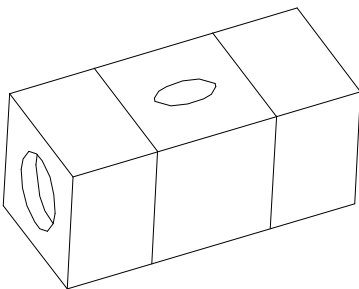


赤外線レーザー



バッテリー

IRリモコンは、赤外線レーザーに向けてご使用ください



水準器



重要：安全に使用するための注意事項

1. ご使用の前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

必要な場合に備えて、本書を保存してください。

製品の損傷を避けるため、メーカーが指定した付属品を使用してください。

運搬の際は、製品の損傷を避けるため、注意して取り扱ってください。

起伏や段差のある場所、傾いた場所に製品を置かないでください。

電源コードの上に重い物を置かないでください。また電源コードは、人がつまずいたりしないように、コンセントに正しく差し込んでください。

感電や火災を避けるため、電源コードに過剰な電流を流さないでください。

ショートや接触不良による感電や火災の原因となるため、液体その他の物質が製品に触れないよう注意してください。

2. 部品の交換作業の際は、ショートが発生しないよう十分注意してください。

3. 製品の内部には、お客様で整備や修理をすべき部品はありません。指定された技術者以外はカバーを外さないでください。また、感電や火災の危険を避けるため、湿気や雨が触れないようにしてください。

電源は連続的に供給できるようにしてください。

AC100V以外の電圧で使用しないでください。

手が濡れている状態や、体の一部が水に触れた状態で電源プラグを触らないでください。

4. 本製品は以下の環境で使用してください。

1) 強風・豪雨や雷が予想される場合にはコンセントを抜いてください。ただし、雷が鳴り出したら製品に触れないでください。

2) 直接、日光・雨・湿気に当たらないようにしてください。

3) 製品が加熱されないよう、火の近くや高温となる場所を避けて設置してください。

4) 製品を移動させる場合やメンテナンスの際には、電源コードを抜いてください。



警告

製品を改造した場合、メーカーの保証が受けられなくなります。製品に関するご質問については、販売元までお問い合わせください。

注意

本装置は、テストの結果、FCC規定の第15条に準拠した、クラスBデジタルデバイスの制限を満たしていることが確認されています。

クラスBの制限は、装置を住宅地域に設置して使用した場合に、有害な電波障害が発生しないことを目的に定められています。本装置は無線通信周波数の電波を生成し放出するため、使用説明書に沿わない設置方法や使い方をすると、無線通信の障害になる可能性があります。

なお、特定の設置方法によって、電波障害が発生しないという保証はありません。装置がラジオやテレビの受信に有害な電波障害を発生させるかどうかは、装置の電源をオン・オフすることで判定できるので、以下の方法をお試しください。

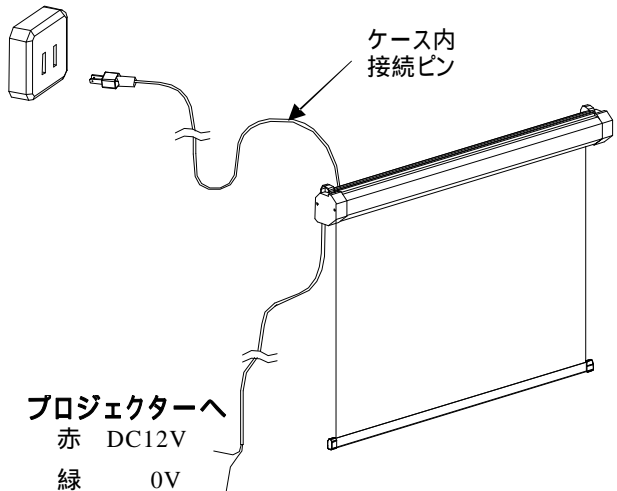
- ✎ 安全性・信頼性を確保するため、アース付きの電源コンセントに直接接続する。
- ✎ 装置に電源を供給する電源コンセントは、できるだけ近い場所を選ぶ。
- ✎ 受信アンテナの場所や方向を調整する。
- ✎ 本装置と受信装置の距離を離す。
- ✎ 受信装置が使用しているコンセントと別のコンセントを使用する。
- ✎ ラジオ・テレビの取扱い業者に相談する。



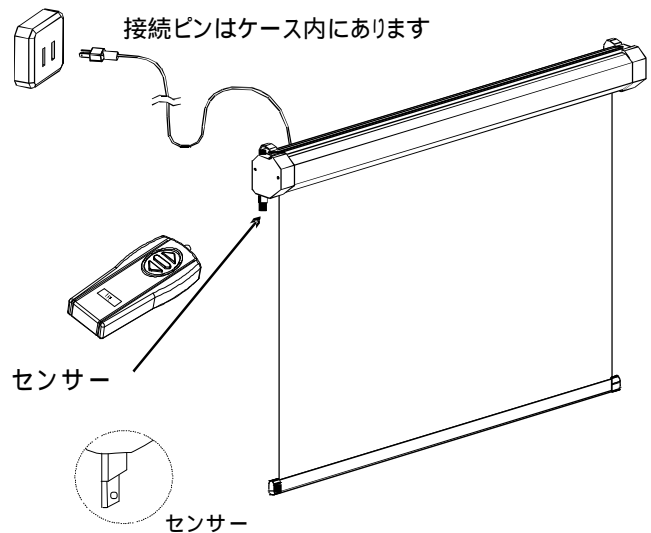
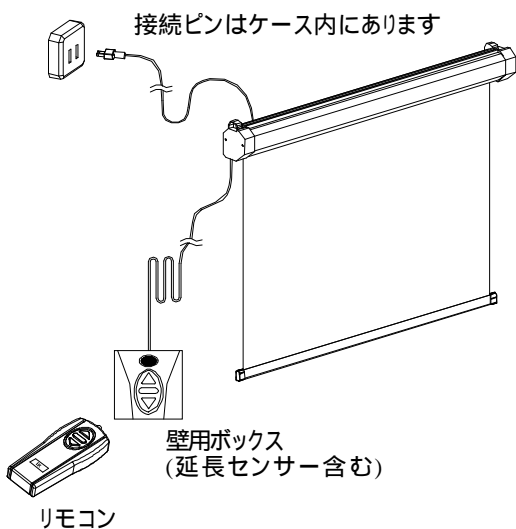
制御システム

- 12Vトリガ** Homeシリーズの12Vトリガ入力を使用すると、スクリーンをプロジェクタの電源に連動して昇降させることができます。スクリーンはプロジェクタの電源がオンとなったときに降下し、プロジェクター電源がオフとなったときに上昇します。

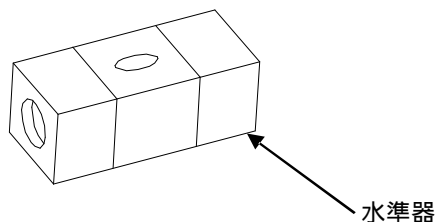
ビデオプロジェクターインターフェース



- IR (赤外線) 壁用ボックスキットおよび赤外線レーザー:** 壁用ボックスキットには赤外線レーザーが含まれます。ケースには、スクリーンの昇降操作のために、IR(赤外線)リモコンか有線の壁用ボックスのどちらかを接続できます。IR(赤外線)レーザーは、ケースの最下部から突き出た形で取り付けます。この場合、目立たない位置でリモコンからのIR(赤外線)信号を受信することができます。赤外線レーザーは壁用ボックスキットにもあります。壁用ボックスキットを接続すると、ケースが視線から隠れていても、赤外線を受信することができます。



- 水準器:** スクリーンを水平に設置できるようにパッケージに水準器を同梱しています。



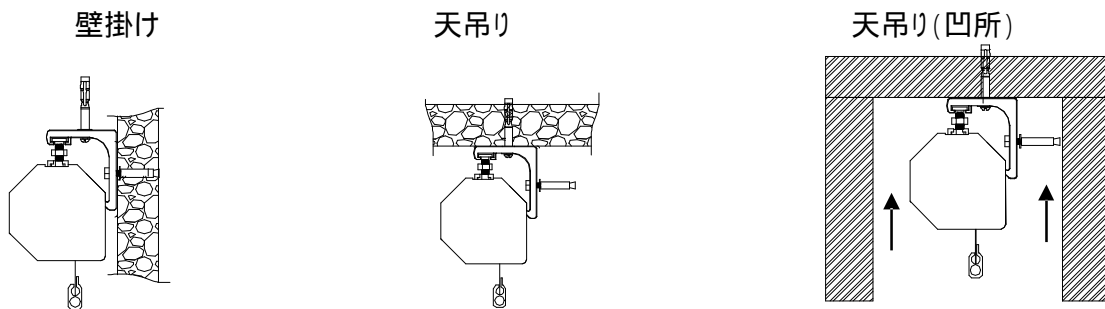
備考: 「Down」の印を底にしてお使いください。
ケースを水平に取り付けるため、泡が中心に位置するように調整してください。

設置に関する重要な注意事項

設置する前にお読みください

- 延長コードを使用する場合、同じ規格(日本仕様は100V)のものをご使用ください。
- メーカーが指定した付属品を使用してください。指定品以外を使用して発生した火事・感電やケガについての責任は負いかねます。
- スクリーンは水平に取り付けてください。取り付け方法が不明な場合、インストーラー業者など、専門の業者に相談することをお勧めします。

設置方法

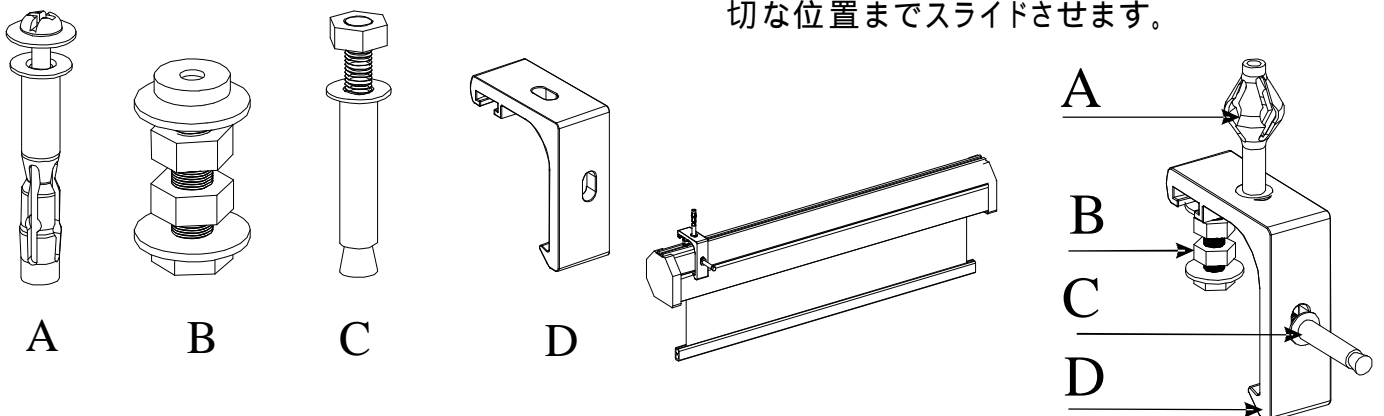


*スクリーンのケースの前後(矢印)は、5cmほど隙間を空けてください

- コンクリート・石膏ボードに、(壁掛け・天吊りともに)中空アンカーが使用できます。同梱されているプラスチック中空アンカーをご使用ください。
- 木ネジは、壁掛け・天吊りともに、120インチ以下の製品でお使いいただけます。中空アンカーは、壁掛け・天吊りともに、120インチ以下の製品でお使いいただけます。
- アルミ製L字ブラケットを溝に取り付け、適切な位置にスライドさせてから、ボルトを締め付けて位置を固定してください。

取り付け用付属品

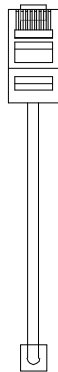
L字ブラケットはケースの溝に取り付け、適切な位置までスライドさせます。



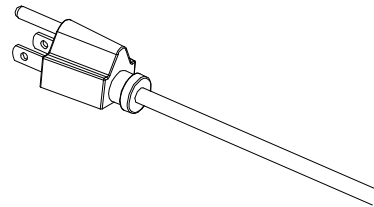
注意: 各ボルトは2つずつ付属します
壁掛け・天吊り用ブラケットおよびボルトが標準で付属します。ご使用のスクリーンの大きさが120インチを超える場合、アンカーは使用できません。

電源ケーブルおよびリモコン

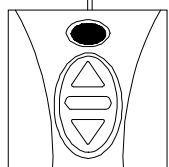
IR(赤外線)レシーバーはケースへ接続します。



幅 11.65 mm

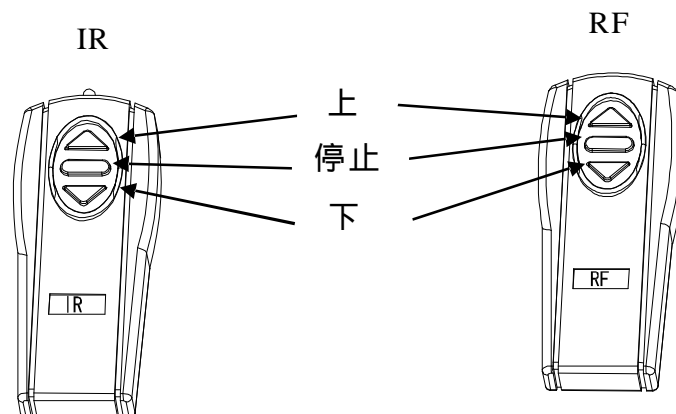


3極プラグはケースからコンセントへ接続します。



幅 80mm

IR(赤外線)リモコンは、センサーに向けて使用します。センサーが隠れてしまう場合には、RFリモコンによる操作が可能です。方向ボタンを押すと小さなクリック音が聞こえ、正常に機能していることを確認できます。



IR (赤外線) リモコン
有効距離4.5m 単四電池

RF (ラジオ周波) リモコン
有効距離9m 単四電池

**赤外線リモコンは、赤外線レシーバーに向けて操作してください。汎用の学習型IRリモコンを使用することも可能です。学習型リモコンにはIRコードを設定します(FAQをご参照ください)。



FAQ

1. Q: スクリーンが動作しません。

A: 以下の点を確認してください。

A.) 電源プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

B.) ヒューズの状態を確認してください。(ヒューズの位置についてはお問合せください)

C.) 壁用スイッチでは操作ができて、リモコンでの操作ができない場合、リモコンの乾電池の状態を確認してください。

2. Q: スクリーンの洗浄方法を教えてください。

A: スクリーン素材は中性洗剤を水で薄めた液体で洗浄できます。

3. Q: リモコンに使用する電池のタイプを教えてください。

A: RFおよびIRリモコンは単四アルカリ乾電池で動作します。

4. Q: 手動でスクリーンを操作することはできますか？

A: できません。手動で操作すると、モーターによる稼働システムに影響します。

5. Q: 学習型赤外線リモコン装置を使用する場合、どのように設定すればよいですか？コードを教えてください。

A: 当社の使用しているコードはいくつかの汎用リモコンメーカーのデータベースに登録され、テストされています。当社の装置を使用できるかどうかはリモコンメーカーにお問い合わせください。または、以下のコードをリモコンに登録して使用してください。

VMAX、Home、CineTension用のバイナリコード

Up: 1111 0000 0001

Stop: 1111 0000 0010

Down: 1111 0000 0100

6. Q: スクリーン素材のゲイン(反射輝度)を教えてください。

A: スクリーン素材「マックスホワイト」のゲインは1.1です。各素材のゲインについてはWebサイトで確認できます。